

株式会社 JEPLAN
2024年11月26日

JEPLAN、長崎県長崎市と水平リサイクルの促進に関する連携協定を締結
ーペットボトルの水平リサイクル（ボトル to ボトル）の推進をはじめ、衣類の資源循環など循環型社会の実現に向けて協働ー

株式会社 JEPLAN（代表取締役 執行役員社長：高尾 正樹、以下「JEPLAN」）と長崎県長崎市（市長：鈴木 史朗）は、水平リサイクルの促進に関する連携協定を11月23日（土）に締結いたしました。

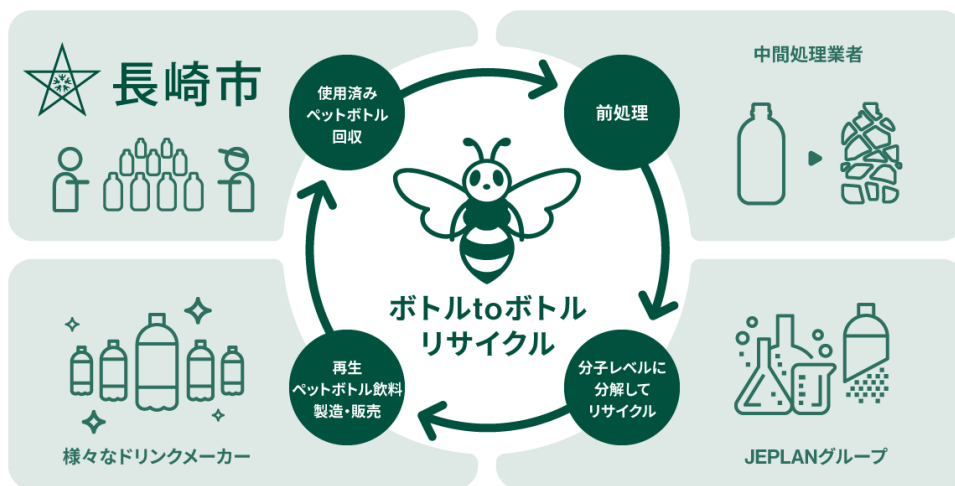


図1. 長崎市とペトリファインテクノロジーによるペットボトルの水平リサイクル（ボトル to ボトル）プロセス

長崎市とは、2022年2月にJEPLANグループ会社のペトリファインテクノロジー株式会社（代表取締役 執行役員社長：伊賀 大悟）と「ペットボトルの完全循環の実現に向けた実証事業に関する覚書」を締結し、ペットボトルの水平リサイクル（ボトル to ボトル）を協働しております。（図1参照）また、市民の皆さまにボトル to ボトルの水平リサイクルによる資源循環の重要性を理解いただくため、地域オリジナルボトル「ながさき水道水」を開発するなど、様々な取り組みを行ってきました。今回の連携協定締結により、JEPLANとも連携し、環境教育および啓発を目的とした市民参加型イベントへの協力、衣類の資源循環等を通じて循環型社会の実現に向けて協働してまいります。

JEPLANグループでは、消費者や企業、自治体と協力し、不要になった衣類やペットボトル等の回収を行い、リユースや多様なリサイクル技術を用いて、限りある資源の循環に取り組んでいます。本協定締結により、ペットボトルの水平リサイクルの協働だけでなく、衣類の資源循環の取り組みも協働してまいります。この取り組みの一環として、「ながさきエコライフ・フェスタ 2024」では、会場内に衣類回収ボックスを設置し、地域住民の皆さまから不要になった衣類を回収しました。さらに、イベントスタッフのTシャツには、JEPLANの独自技術でリサイクルされた再生ポリエステル樹脂を使用したTシャツが採用されました。これらの取り組みを通じて、参加者の皆さまにご自身の身近な行動が資源循環に繋がっている

ことを実感していただき、より積極的にごみの分別回収やリサイクルに取り組んでいただくことで、地域全体の資源循環を促進することを目指します。

今後も JEPLAN グループでは「あらゆるものを循環させる」というミッションの実現に向けて、引き続き国内外のパートナーとの連携を進め、グループ丸となりサーキュラーエコノミーを牽引していくことに努めてまいります。

■地域オリジナル循環ボトルの展開

2023年に発表した地域オリジナル循環型ボトル「ながさき水道水」*1の第2弾を、2025年4月（予定）を目途に展開する予定です。

本ボトルは、使用済ペットボトルをJEPLANグループ独自のPETケミカルリサイクル技術で再生したPET樹脂を用いて製造しています。回収した使用済ペットボトルを分子レベルに分解した後、不純物を取り除き、石油由来のPET樹脂と同等品質のPET樹脂に再生するため、何度でもリサイクルすることが可能です。

*1 【プレスリリース】JEPLANが“ボトルtoボトル”を協働する長崎県長崎市と再生PET樹脂を用いた地域オリジナルの循環型ボトル「ながさき水道水」を制作：<https://www.jeplan.co.jp/2023/10/23/13609/>

■「ながさきエコライフ・フェスタ 2024」での協働について

日時：2024年11月23日（土）・24日（日）

会場：長崎水辺の森公園・出島岸壁

<取り組み内容>

- JEPLANの協賛でイベント会場にて着なくなった服の回収を実施
- イベントスタッフTシャツに、回収した衣類を原料に独自技術でリサイクルした再生ポリエステル樹脂を素材に使用したTシャツを採用
- 本連携協定の締結式を実施



写真左) 締結式の様子 (左から長崎市 市長：鈴木 史朗氏、株式会社 JEPLAN 取締役 執行役員会長：岩元 美智彦)
写真右) イベント会場に設置した回収ボックスと再生ポリエステルを素材に使用したイベントスタッフTシャツ

本件に関する取材のお問い合わせ先

株式会社 JEPLAN 広報担当

電話：044-223-7898 E-mail：jeplan_info@jeplan.co.jp

■JEPLAN グループが推進する「ボトル to ボトル」のリサイクルに係る
取り組み (<https://bringbottle.jeplan.co.jp/>)

JEPLAN グループは、日本全国のさまざまな自治体と連携して「ボトル to ボトル」のリサイクルに係る取り組みを推進しています。役割を終えたモノがゴミにならず、価値ある資源として循環する社会を目指しています。



■長崎県長崎市 (<https://www.city.nagasaki.lg.jp/>)

市長：鈴木 史朗

■株式会社 JEPLAN (<https://www.jeplan.co.jp>)

代表者：代表取締役 執行役員社長 高尾 正樹

設立：2007年1月

主な事業内容：PET ケミカルリサイクル技術関連事業（対象：PET ボトル・ポリエステル）など

JEPLAN グループは「あらゆるものを循環させる」をミッションに掲げ、サーキュラーエコノミーの実現を目指しています。廃PET（ペットボトル、ポリエステル繊維等）を対象に、独自のPETケミカルリサイクル技術を用いて分子レベルに分解し、不純物を除去することで、石油由来と同等品質の再生素材に生まれ変わらせています。この独自技術を用いて、「ボトル to ボトル（ペットボトル）」や「服から服をつくる（ポリエステル繊維）」などのリサイクルに取り組むことで、限りある資源の循環を実現し、CO₂の排出量削減にも寄与しています。

なお、JEPLAN グループはペトリファインテクノロジー株式会社（神奈川県川崎市・ペットボトル対象）と北九州響灘工場（福岡県北九州市・ポリエステル繊維対象）の2拠点でPETケミカルリサイクルプラントを運営しており、国内外への技術ライセンス事業も推進しています。